

- 米子市稲吉集落の大蓋梨団地は年々高齢化により廃園が増加。
- 団地内の**廃園**を新技術の**ジョイント栽培**と**新品種「新甘泉」**で再生するよう集落総会を通じて働きかけた。
- 新規栽培者3名を含む**8名の入植希望があり、廃園と既存園1.2haを再整備し、ジョイント、網掛け栽培の団地として再生することとなった。

具体的な成果

○入植者の確保

入植者8名の内、新規就農者1名と退職前就農者2名が取り組むこととなった。

○梨団地の再生

- ・廃園1.1ha、既存園0.15haを**ジョイント・網掛け栽培**で取り組むこととなり、令和3年度に植え付ける。
- ・灌漑用水の整備も可能となった。



○新品種の推進

「新甘泉」を中心に**7品種**が新植されることとなった。

品種	面積 (a)	備考
新甘泉	49	廃園106 a 既存園15a
王秋	39	
夏さやか	11	全園ジョイント・網掛け栽培
おさゴールド	8	
二十世紀	6	新規就農1名
甘太	5	退職前就農予定者2名
幸水	3	既存農家5名
合計	121	計8名

普及員の活動内容し

○現状の把握(平成30年度)

- ・生産者にアンケートで将来の意向を調査。結果をもとに梨生産部の役員会で振興策について話し合った。
- ・稲吉集落の果樹団地全園の**作付状況調査**を行った。

○事業推進(平成30年度)

- ・平成30年に稲吉地区の**集落総会**で果樹の事業について説明し、入植者を募集した。



○事業の取り組み(平成31～令和2年度)

- ・入植希望者から作付品種、灌漑用水の整備等の要望。
- ・各関係機関と協議し、補助率の高い**「農地耕作条件整備事業」(国)**を活用することとした。

今後の普及活動に向けて

○令和3年度の植え付けに向けて、事業の進捗状況を確認する。

○**他地区でも**生産部、JA、町と協力して廃園跡地の有効利用を進める。